TADOKU JUNIOR　せかいのなぜなに神話　★★★☆☆ ふつう　450語

Why there is a Man in the Moon

どうしてお月さまに男の人がいるの？

Florence Holbrook（1902年の本）　**原文そのまま**　朗読：rakpinay

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　まき集めをさぼって魚つりをしただんなさん。日曜日の朝、こっそりたきぎを集めに森へ行くと、ふしぎな声が……。



"Goodman," said the goodwife, "you must go out into the forest and gather sticks for the fire. To-morrow will be Sunday, and we have no wood to burn."

"Yes, goodwife," answered the goodman, "I will go to the forest."

He did go to the forest, but he sat on a mossy rock and fished till it was dark, and so he brought home no wood. "The goodwife shall not know it," he thought. "I will go to the forest to-morrow morning and gather sticks."

When morning came, he crept softly out of the house when it was hardly light, and went to the forest. Soon he had as many sticks as he could carry, and he was starting for home when a voice called sternly, "Put those sticks down." He looked

to the right, to the left, before him, behind him, and over his head. There was no one to be seen.

"Put those sticks down," said the voice again.

"Please, I do not dare to put them down," replied the goodman, trembling with fear. "They are to burn, and my wife cannot cook the dinner without them."

"You will have no dinner to-day," said the voice.

"The goodwife will not know that I did not gather them last night, and she will let me have some dinner. I am almost sure she will," the goodman replied.

"You must not gather sticks to-day," said the voice more sternly than ever. "It is Sunday. Put them down."

"Indeed, Mr. Voice, I dare not," whispered the goodman; and afar off he thought he heard his wife calling, "Goodman, where are you? There is no wood to burn."

"Will you put them down, or will you carry them forever?" cried the voice angrily.

"Truly, I cannot put them down, for I dare not go home without them," answered the goodman, shaking with fear from head to foot. "The goodwife would not like it."

"Then carry them forever," said the voice. "You care not for Sunday, and you shall never have another Sunday."

The goodman could not tell how it came about, but he felt himself being lifted, up, up, up, sticks and all, till he was in the moon.

"Here you shall stay," said the voice sternly. "You will not keep Sunday, and here you need not. This is the moon, and so it is always the moon's day, or Monday, and Monday it shall be with you always. Whenever any one looks up at the moon, he will say, 'See the man with the sticks on his back. He was taken to the moon because he gathered wood on Sunday.'"

"Oh dear, oh dear," cried the goodman, "what will the goodwife say?"

「あなた」とおかみさんが言いました。「森へ行って、火にくべるたきぎを集めてきてくださいな。あしたは日曜日なのに、もやすまきがないんですよ。」

「わかったよ、おまえ」とだんなさんは答えました。「森へ行ってこよう。」

だんなさんは森へ行くには行きましたが、こけのはえた岩にすわって、くらくなるまで魚つりをしていたので、まきを一本も持って帰りませんでした。「おかみさんには、ないしょにしておこう」とだんなさんは思いました。「あしたの朝、森へ行ってたきぎを集めればいいさ。」

朝になると、だんなさんはまだうす明るいうちに、そっと家をぬけ出して、森へ行きました。まもなく、運べるだけのたきぎが集まったので、家へ帰ろうとしていると、きびしい声がよびかけました。「そのたきぎをおろしなさい。」だんなさんは、右を見て、左を見て、前を見て、うしろを見て、頭の上も見ました。だれのすがたも見えません。

「そのたきぎをおろしなさい」と、声がまた言いました。

「おねがいです、こわくておろせません」と、だんなさんはおそろしさにふるえながら答えました。「これはもやすためのものなんです。これがないと、おかみさんがお昼ごはんを作れないんです。」

「きょう、おまえのお昼ごはんはない」と声は言いました。

「ゆうべ集めなかったことは、おかみさんにはばれないから、ごはんを食べさせてくれますよ。たぶん、きっと食べさせてくれます」とだんなさんは答えました。

「きょうは、たきぎを集めてはならない」と声は、ますますきびしく言いました。「きょうは日曜日だ。おろしなさい。」

「本当に、声さん、とてもおろせません」とだんなさんはささやきました。すると遠くのほうで、おかみさんのよぶ声が聞こえたような気がしました。「あなた、どこにいるの？もやすまきがないのよ。」

「おろすのか、それともいつまでも運びつづけるのか？」と声はおこってさけびました。

「本当に、おろせないんです。これを持たずに家に帰るなんて、こわくてできません」とだんなさんは、頭から足の先までふるえながら答えました。「おかみさんがいやがりますから。」

「それなら、いつまでも運んでいなさい」と声は言いました。「おまえは日曜日をだいじにしない。だから、おまえには二度と日曜日は来ない。」

だんなさんには、どうしてそうなったのかわかりませんでしたが、自分の体がもち上げられていくのを感じました。上へ、上へ、上へと、たきぎごと、とうとうお月さままで。

「おまえはここにいるのだ」と声はきびしく言いました。「おまえは日曜日を守ろうとしない。だから、ここでは守らなくてよい。ここはお月さまだから、いつもお月さまの日、つまり月曜日だ。おまえにとっては、いつまでも月曜日なのだ。だれかがお月さまを見上げるたびに、こう言うだろう。『ほら、せなかにた

きぎをしょった男の人が見えるよ。あの人は、日曜日にまきを集めたから、お月さまにつれていかれたんだよ。』」

「ああ、こまった、こまった」とだんなさんはさけびました。「おかみさんが何て言うだろう？」

たんご と クイズ　どうしてお月さまに男の人がいるの？

sticks たきぎ・小えだ	**wood** まき	**forest** 森
fished 魚つりをした	**Sunday** 日曜日	**Monday** 月曜日
moon お月さま		

Q1 だんなさんは、たきぎを集めるかわりに何をした？

① ひるね　② 魚つり　③ かり

Q2 だんなさんがたきぎを集めたのは何曜日？

① 日曜日　② 月曜日　③ 土曜日

Q3 だんなさんはどこへつれていかれた？

① 海の底　② 森のおく　③ お月さま

こたえ

Q1 ②　だんなさんはこけのはえた岩にすわって、くらくなるまで魚つりをしていて、まきを持って帰りませんでした。

Q2 ①　日曜日の朝にたきぎを集めていると、声が「きょうは日曜日だ。おろしなさい」と言いました。

Q3 ③　だんなさんはたきぎごと上へ上へともち上げられて、お月さままでつれていかれました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #22420（Florence Holbrook、1902年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：rakpinay（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。